

あたらしい絵本 No. 492 2025. 1. 28



『おいもちゃん』 樋勝 朋巳

・おいもちゃんが、突然くつ下を脱いで、海へざぶーん! 気持ちよく泳いでいたけれど、寒くなってきて、はっくしょん! 風邪ひいちゃったかな? そこへメルちゃんがやってきて…。 「チキカングー」に続くあかちゃん絵本。
(幼0~2歳)



『せかいいちのおおどろぼう』 絵/菅野 由貴子

・ひまをもてあます世界一の太泥棒の前に、貧しい村の少女ミラが現れた。ミラに「貧乏も盗める?」と言われた太泥棒は、夜になると村の全部の家に忍び込み、札束を置いてきたが…。 太泥棒はミラの村から貧乏を盗めるのか?
(幼0~5歳)



『なきむし』 作・絵/みやにし たつや

・わがままな妹は、「うわあーん、うわあーん」とすぐに泣く。でも兄のぼくだって、がまんができないときがあって…。 おにいちゃんのやさしさと、兄妹のあたたかさを描く絵本。 (幼0~5歳)



『おかおあらうのみーせて』 きくち ちき/絵

・かえる、あらいぐま、ねずみ、ぞう。みーんな、お水で「ぱしゃ」と顔をあらうのが上手です。つぎは、女の子の番です。さあ、顔をあらって、きもちよくなれるかな? (幼0~5歳)



『おすしアイドル』 山崎 由貴

・今日のライブもお客さんはゼロ? 13人の悩めるおすしアイドルの前に現れたのは、さすらいのアイドルプロデューサー、ショウユー! 特上のアイドルを目指し、みんなで鮮やかに生まれ変わるのか!? (幼0~5歳)



『ちいさなゆめがあったなら』 メリッサ・カストリヨン/絵

・おうちや池、テーブルにも名前をつける女の子。名前をつければ、もっと世界を好きになる。女の子のまわりは、すてきなものにあふれていて…。 やさしくリズムカルな文と、のびやかで明るい絵が、子どもの想像力を広げる一冊。
(幼0~5歳)



『ウォーリーをさがせ! スピードバトル』

マーティン・ハンドフォード/作・絵

・ウォーリーさがしバトルのはじまりだ。あっと驚くゆかいな旅の先々に隠れているウォーリーの仲間たちと、やっかいなさがしものを見つけだせるかな? ひとりでも、みんなでも楽しい、さがすスピードを競うウォーリー絵本。
(幼0~5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



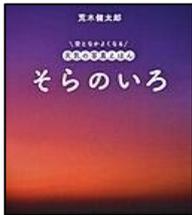
『メロンパンツ』 しぶや こうき

・カエルのケロンが、大きなメロンパンを食べようとする、友だちがやってきました。全部ひとりで食べたかったケロンは、「ひとくちちょうだい」という友だちに、「これはパンツです!」とウソをついて…。(幼3~5歳)



『いじわるブーはいっとうしょう』 さく/アーロン・ブレイビー

・ブーは世界一、性格の悪いパグ。競争が大好きで、勝つためだったら、どんなに汚いことでもする。ある日、早食い競争をしようと、ごはんにがつくと…。絵本「いじわるブー」シリーズ第3弾。(幼3~5歳)



『そらのいろ』 荒木 健太郎

・身近な空で出会える、魔法のようなそらのいろ。朝焼け、夕焼け、青空、夜明け前、夕焼け後のほんのわずかな間あられるブルーモーメントなど、そらのいろのしくみを美しい写真で紹介します。(幼3~5歳、小初)



『糸をつむいで世界をつないで』 ディナラ・ミルタリポヴァ/絵

・布には世界が織りこまれてる。はた織りの音がうたうのは、人のつながり、そのぬくもり。世界中で手から手へと受け継がれてきた織物の歴史を、美しい絵とリズムカルな言葉で伝える。(幼3~5歳、小初)



『パンダとうさん』 作絵/中川 貴雄

・パンダとうさんは、ゴロゴロするのが好き。ドジで、おっちょこちょいなところもある。毎日ネクタイをしてお仕事に行く。どんなお仕事をしているのか、ママは知ってるみたいだけど、ぼくは知らない。気になったぼくは…。(幼3~5歳、小初)



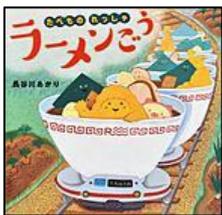
『空はみんなのもの』 荒井 良二/絵

・空って、みんなの空だね。だれの目にだって、どこまでもひろい空がうつるもの。でも、どうして大地はさかいめだらけなんだろう? イタリアの国民的な作家ロダーリが軽やかな言葉でつづる、平和を問う絵本。(幼3~5歳、小初)



『わたしのくつしたはどこ?』 ベルナルディータ・オヘダ/絵

・犬のアデラのまわりでは最近ふしぎなことばかり起こります。お気に入りのくつしたはなぜきえてしまったの? なぜ仕事へ行く道をまちがえるの? お話としかけが視覚障がいについての理解を助ける絵本。(幼3~5歳、小初)



『たべものれっしゃ ラーメンごう』 長谷川 あかり

・どんぶりが連なったラーメン号が駅を出発。「おいしいラーメンになるからねー!」スープたっぷりのどんぶりに乗り込んだ麺たちが手を振ります。ラーメン号が駅に着くたび、個性豊かな具材たちがどんぶりに入ってきて…。(幼3~5歳、小初)